

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	戸隠からはじめるクライミングプロジェクト
事業主体 (連絡先)	戸隠山岳文化とクライミングの会 (会長 佐々木 常念 026-254-3522 tsc1904@gmail.com)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	891,801円 (うち支援金 : 707,000 円)

事業内容

長野市の戸隠地域は、観光地として資源に恵まれているものの、少子化等の影響により、将来を担う人材育成に課題がある。また未活用の山岳観光資源と未到達の客層があり、十分に資源を生かしきれていないため、「クライミング」を切り口に、「戸隠の山岳文化」を深め、発信する活動を、地元の若者中心により行ったものである。

事業効果

(1) クライミング体験イベント

山岳登攀技術であるクライミングの入門編として、仮設ボルダリング壁を設置し、キャンプ場利用者や、戸隠の子どもたちに体験してもらった。

雨天が多かったが、常設のボルダリング壁があることで、キャンプ場利用者や戸隠地域の住民に多く利用され、初心者も気軽に体験するなど、認知度が高まった。

(2) 戸隠キッズ・クライミングファーストステップ

本格的なクライミング施設に戸隠の子どもたちを連れて行き、クライミングを通して、戸隠の地域資源である登山や山岳への興味を持ってもらい、アイデンティティを育てるとともに、身体能力の向上を図るきっかけ作りを行った。

(3) 戸隠のクライミング体験会

フリークライミングの第一人者を招き、基礎や課題を学び、戸隠の山岳やクライミングについて講演を受けた。仮設ボルダリング壁の体験を通じて、戸隠らしい山岳観光のあり方への理解が深まった。

今後の取り組み

キャンプ場利用者をはじめ、戸隠地域内においても、クライミングに関する認知度の向上と、今後の山岳文化の向上に関する取り組みへの支持をいただいた。

戸隠の子どもたちに対する取り組みから、保護者や先生にも戸隠のクライミングについての理解が深まり、中学校へのクライミング施設の設置検討についての相談を受けるなど、地域での関心が高まっている。日常の活動へ関心を持ち、新規会員も獲得できた。

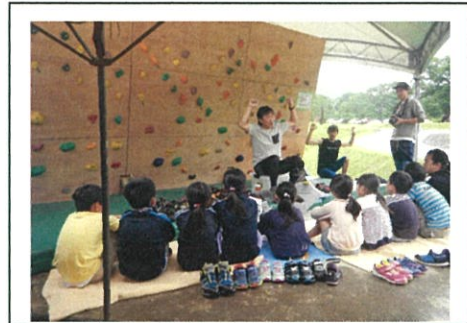
また、子どもたちや会員からは今年度のイベントを終えた後も、クライミングや登山への参画意欲があり、次年度以降の活動につなげていく。

さらに、戸隠地域へのクライミング施設の必要性が、地域の内外から高まっていることを受け、施設の設置要望につなげるとともに、その運用について、会として専門知識を深め適切な支援を行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【クライミング体験会のようす】

【目標・ねらい】

- ①戸隠の山岳文化の理解を深める
- ②クライミング体験人口の増加
- ③戸隠のこどもにクライミング技術を体験してもらう
- ④山岳文化とクライミングによる観光振興を検討する

※自己評価 【 B 】

【理由】

仮設ボルダリング壁を中心に、クライミングへの理解が深まった。また、戸隠の子どもたちにクライミングを体験してもらい、意欲が高まった。